

各位

上場会社名 オリコン株式会社
代表者 代表取締役社長 小池 恒
(コード番号 4800)
問合せ先責任者 執行役員企業広報部長 日高輝明
(TEL 03-3405-5252)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,060	1,020	940	650	4,155.48
今回発表予想(B)	7,060	1,220	1,150	780	4,984.28
増減額(B-A)	0	200	210	130	
増減率(%)	—	19.6	22.3	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	6,069	801	778	336	2,149.21

修正の理由

第2四半期連結累計期間において、各事業は概ね計画通りに売上を計上し、その結果、グループ全体の売上高は、ほぼ期初の予想数値通りに着地しました。一方、利益面については、WEB事業において顧客満足度(CS)ランキング連動型広告等の粗利益率の高い広告商品の売上の占める割合が想定より高くなったこと、着うたフル配信サービスにおいて月額定額課金の売上の占める割合が想定より高くなったこと等によって、粗利益率が計画より高くなりました。この増益効果が、第2四半期連結累計期間に提供開始したiPhoneやAndroid携帯電話向けに最適化した無料アプリの開発費用や、Android携帯電話向けの音楽配信サービスの立ち上げ費用等、スマートフォン対応に要した費用を吸収し、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益が期初の予想数値を上回りました。

平成23年3月期の下期(第3四半期及び第4四半期)においても、WEB事業の広告販売及び着うたフル配信サービスについては、粗利益率が期初の計画より高くなるという上期(第2四半期連結累計期間)からの基調に大きな変化は出ない見通しです。

一方、下期においても、スマートフォン対応に積極的に取り組み、アプリの開発を期初の計画以上に推進します。スマートフォンユーザー数万人を対象として全てのジャンルのアプリの満足度調査を行い、その結果に基づいたランキングを掲載する「アプリポータル」、エンタテインメント関連のスケジュールや情報を付加した「カレンダーアプリ」、当社グループが保有する楽曲データや音楽情報を付加した「音楽プレーヤーアプリ」等、当社グループの企画力、情報収集力、調査力を活かしたユニークなアプリを順次、投入する予定であり、それに関わる費用が想定より増加する見込みです。今後、当社グループでは、これらのアプリや、すでに投入している「ORICON STYLE」サイトのアプリ等を有機的に連動させ、スマートフォンにおける音楽配信ビジネス、アフィリエイトビジネス、広告ビジネス等を積極的に展開してまいります。

以上のことを勘案し、下期において計上する利益の額については、期初の予想数値を据え置くことにしました。従って、平成23年3月期の通期の連結業績予想については、上期の実績値が期初の予想数値を上回った差分を考慮し、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上